

固定長/XMLファイルフォーマット変換ソフトウェア<TranXML II>の概要

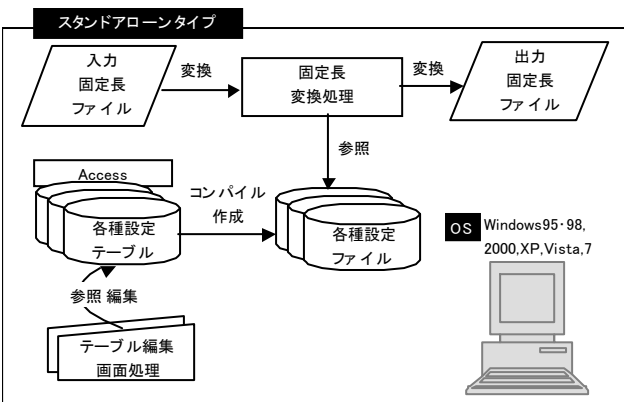
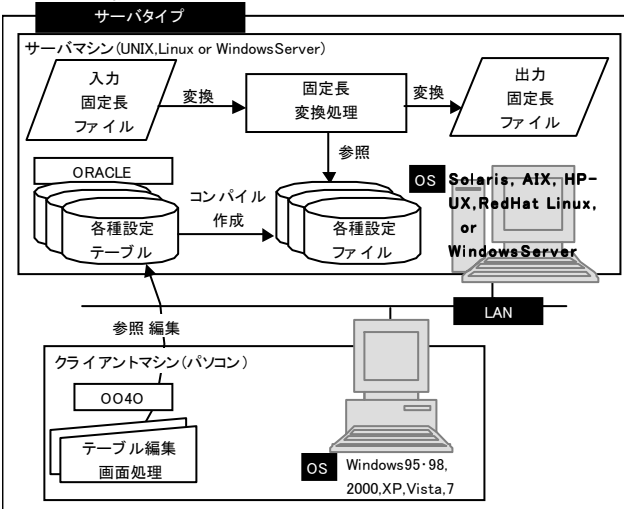
■特徴

- 固定長ファイル変換機能
固定長テキストファイルをユーザによって設定された変換定義に沿って変換します。
- XMLファイル変換機能
XMLフォーマットファイルをユーザによって設定された変換定義に沿って変換します。
- GUIによる変換定義の設定機能
GUIにより簡単に変換定義の設定が可能です。
- ブルーリスト出力機能
変換（マッピング）後の出力内容の確認機能としてブルーリストを作成します。全項目内容を画面上に表示し、印刷機能を利用することによりデータの確認が素早くできます。
- 各レコード種別毎での変換（ヘッダ・明細・トレーラ分割レコード）にも対応。
- 漢字コード変換機能
固定長ではJIS、SJIS、EUC、EBCDIC間の漢字コードを変換できます。XMLではJIS、SJIS、EUC、UTF-8、UTF-16BE、UTF-16LE間の漢字コードを変換できます。

■変換機能

- マッピング機能
フィールドの1対1の移動（マッピング）が可能。
- データ分割機能
単純なフィールドの分割はもちろんフィールド内の必要バイト数のみ分割出力も可能。
- データ連結機能
複数フィールドの連結も可能。
- コード変換機能
コードマスターを設定することによりコード変換が可能。
- データ演算機能
同じレコード内の演算が可能。
- 条件別による処理分岐機能
入力ファイルの項目別条件により出力する内容を設定可能。
- 各種機能の連携もサポート

■システム構成図



株式会社SRA

本社 〒171-8513 東京都豊島区南池袋 2-32-8 TEL 03-5979-2111(代)
 産業第二事業部 〒171-8513 東京都豊島区南池袋 2-32-8 TEL 03-5979-2711
 関西事業所 〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺 3-1-8 TEL 06-4704-2611

- このカタログに記載された仕様、価格などは改良のため予告なしに変更することがあります。
- 記載されている会社名及び製品名は各社の登録商標または商標です。



変換定義画面

■ファイル仕様

最大レコード長	65535 バイト
レコードレイアウト形式	改行符号無固定レコード 改行符号付固定レコード CSV レコード XML レイアウト
項目属性	a: 8bit英数字 3999バイト an: 8bit, 16bit混合文字 3999バイト K: 16bit文字 3998バイト 9: 符号無固定小数数字列 30バイト 9S: 符号有固定小数数字列 30バイト N: 浮動小数数字列 30バイト FD: 10進数 16バイト FDP: バック化10進数 16バイト b: バイナリ 1999バイト

■動作環境

【サーバタイプ】（サーバ側）

プラットフォーム	UNIX/Linux	Windows
OS	Solaris AIX HP-UX RedHat Linux	NT Server (3.5.1以降) 2000Server Server2003 Server2008 Server2012
データベース	Oracle7以降 (Oracle有無選択可能)	Oracle7以降 (Oracle有無選択可能)

【サーバタイプ】（クライアント側）

プラットフォーム	Windows マシン
OS	95, 98, 2000, XP, Vista, 7, 8
データベース	mdb(サーバ側 Oracle 未使用時)

【スタンドアロンタイプ】

プラットフォーム	Windows マシン
OS	95, 98, 2000, XP, Vista, 7, 8
データベース	mdb

- 注1) 導入方法については個別にご相談させていただきます。
 注2) Oracle, OS は製品に含まれておりません。
 注3) サーバ側で Oracle 使用時、クライアント側 PC には Oracle Object for OLE が必要です。